

授業概要

社会調査実習Ⅰでは、社会調査の基礎的な手順を学んだ。社会調査実習Ⅱでは、社会調査実習Ⅰでの報告結果を踏まえながら、社会調査での一連の手順、すなわち、調査設計（先行研究の収集）、仮説と目的の設定（先行研究分析）、標本抽出（サンプリング）、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、分析（クロス集計を含む）、報告書の作成の順に講義を進めていく。本年度は、知的財産権に関する社会調査として、動画サイトの問題を考えていく。なお、本講義は、社会調査実習Ⅰを事前に履修しておく必要がある。

授業計画

第1回	ガイダンス（本講義の履修上の注意，受講の際のルールを含む）
第2回	先行研究の収集、文献の収集（調査目的や調査倫理の問題の解説を含む）
第3回	先行研究の分析（仮説と目標の設定。先行研究を読み、現在の問題の把握と未解決の問題を探る）
第4回	予備調査票の作成と予備調査
第5回	予備調査のデータ入力と分析
第6回	調査票の作成の実際
第7回	調査の実施の実際
第8回	データ入力
第9回	分析 単純集計と基本的な統計解析（SPSS を利用し，分析を行う）
第10回	分析 クロス集計と基本的な統計解析（SPSS を利用し，分析を行う）
第11回	分析 統計解析（SPSS を利用し，t検定，分散分析，多変量解析等を行う）
第12回	データの加工（見栄えのよいグラフや図表の作成）
第13回	報告書の作成（得られた調査結果を元に，報告書を作成する）
第14回	報告書の完成（完成した報告書を基に，ポスターの作成）
第15回	プレゼンテーションとまとめ
第16回	課題提出

到達目標

調査設計（先行研究の収集）、仮説と目的の設定（先行研究分析）、標本抽出（サンプリング）、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、分析（クロス集計や t 検定を含む）、までを全員が体験し、報告書の完成を目指す。

履修上の注意

- ・本講義は、社会調査士の取得に関する科目です。事前に社会調査実習Ⅰを履修すること。
- ・グループで作業を行うことが多いため、欠席や遅刻は、メンバーに多大な迷惑をかけます。十分注意すること。
- ・受講態度の悪い学生には、退出を求めます。
- ・各回の課題を確実にまとめていくこと。
- ・レポートなどの負担が大きいため、安易な気持ちで履修しないこと。

予習復習

評価方法

授業中の平常点（意欲、関心、授業態度 20%）と、提出課題の内容（80%）によって評価する。

テキスト

テキスト：米川和夫（他）著（2010）、SPSS 統計解析マニュアル 北大路書房
 参考書：篠原清夫（他）編（2010）、社会調査の基礎 弘文堂